

令和4年度 現地検討会実施状況 (森林計画)

開催数：27

		(名)
国有林		480
都道府県		44
市町村		48
森林組合		6
林業事業体 (森林組合を除く)		29
研究機関		3
その他		3
合計		613

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
赤井川森林整備計画策定に伴う現地検討会	4月26日	主催：赤井川村 開催協力：石狩森林管理署	赤井川村村有林 (キコク)	国有林 7名	赤井川村では次期森林整備計画で村有林整備を検討していることから、関係行政機関、林業事業体との意見交換を行うため。	石狩署では赤井川村の森林整備計画の策定にあたって、支援チームを組織し技術支援を行っている。現地検討会の開催にあたっては、村有林調査を地元森林官が中心となって支援。ドローンで撮影した航空写真も活用し、役場の担当者との勉強会も行った。当日は森林室、後志署、森林組合、事業体等から、村有林整備の計画にあたっての意見、助言を受けた。これらを計画に反映していく考え。	
				都道府県 7名			
				市町村 6名			
				森林組合 3名			
				林業事業体 (森林組合を除く) 2名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 25名			
札幌市私有林での民有林支援現地検討会	6月20日	主催：石狩森林管理署 共催：札幌市	札幌市市有林 (白旗山)	国有林 4名	札幌市において森林経営管理制度に伴う検討対象森林が3000か所程度あることから今後の進め方などについて技術的支援を行うため。	札幌市市有林をモデルとして進めるために、ドローンで航空写真を撮影、林分状況を確認しながら、意見交換を行った。	
				都道府県 名			
				市町村 5名			
				森林組合 名			
				林業事業体 (森林組合を除く) 2名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 11名			
天然更新に関する勉強会	6月21日 ～22日	北海道森林管理局 計画課	留萌南部森林管理署 88林班 (留萌市)	国有林 45名	多様な森林づくりにおいて重要な天然更新技術への理解を深めるため。	森林総合研究所の佐藤氏を講師として実施。6月21日は、web配信により天然更新に関する基礎知識について講義を行った。翌22日は、実際の森林において天然更新状況調査のひとつであり、従来手法より簡易に実施可能なライントランセクトによる調査実習を実施した。	
				都道府県 名			
				市町村 4名			
				森林組合 名			
				林業事業体 (森林組合を除く) 名			
				研究機関 1名			
				その他 名			
				合計 50名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
後志管内市町村地域林政連絡会議現地検討会	6月29日	主催：石狩森林管理署 共催：小樽市	小樽市 私有林（塩谷地区）	国有林	7名	民有林と国有林の連携の取組みを推進するため。	小樽市が経営管理権集積計画を公告したことから、他市町村に参考となるよう会議において説明を行ってもらうとともに、対象となっている小樽市私有林において現地検討会を開催し意見交換を行った。	
				都道府県	名			
				市町村	6名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
合計	13名							
石狩管内市町村地域林政連絡会議 現地検討会	7月12日	主催：石狩森林管理署 共催：札幌市	札幌市 私有林（小別沢地区）	国有林	3名	民有林と国有林の連携の取組みを推進するため。	札幌市が経営管理権集積計画を公告したことから、その取組が他市町村に参考となるよう会議において説明を行ってもらうとともに、対象となっている札幌市私有林において現地検討会を開催し意見交換を行った。	
				都道府県	2名			
				市町村	13名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
合計	18名							
多様な森林づくり現地検討会	7月21日	・網走西部森林管理署 ・北海道森林管理局 計画課	網走西部森林管理署 304そ林小班（遠軽町）	国有林	24名	天然力を活用した多様な森林づくりの定着化と質の向上に取り組む必要があるため現地検討会を開催し、職員の意識・知識・技術のさらなる向上を目的とする。	各班毎に現地を踏査し、林分状況を評価し、施業方法の検討結果等を発表する。発表後は全体の意見交換等により、改善点、課題などを話し合う。	 現地の状況について説明
				都道府県	名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業体（森林組合を除く）	名			
				研究機関	名			
				その他	名			
合計	24名							

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
天然林整備に向けた現地検討会（空知署）	7月26日～27日	北海道森林管理局 計画課	空知森林管理署 3078・4169林班（芦別市）	国有林 28名	計画的な天然林施業の実施による広葉樹の育成及び広葉樹材の安定供給に向け、森林の現況に応じた天然林施業に関する職員の意識・知識・技術を向上させるため。	過去に伐採を行い、部分的に植え込みを行った天然林2箇所を検討箇所とし、参加した森林管理署ごとに現況の把握および目標林型へ向けた施業方法やその課題を検討。その後、局・署より検討した施業案等について発表し、意見交換を実施した。 局・各署からは様々な施業案・課題が出され、お互いに質問・回答することで、天然林施業に関する理解を深めた。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 28名			
天然林整備に向けた現地検討会（石狩署）	8月2日～3日	北海道森林管理局 計画課	石狩森林管理署 2094・2175林班（札幌市）	国有林 38名	計画的な天然林施業の実施による広葉樹の育成及び広葉樹材の安定供給に向け、森林の現況に応じた天然林施業に関する職員の意識・知識・技術を向上させるため。	過去に伐採を行い、部分的に植え込みを行った天然林2箇所を検討箇所とし、参加した森林管理署ごとに現況の把握および目標林型へ向けた施業方法やその課題を検討。その後、局・署より検討した施業案等について発表し、意見交換を実施した。 局・各署からは様々な施業案・課題が出され、お互いに質問・回答することで、天然林施業に関する理解を深めた。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 38名			
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	8月25日	・檜山森林管理署 ・北海道森林管理局 計画課	檜山森林管理署 112か林小班（厚沢部町）	国有林 27名	天然力を活用した多様な森林づくりの定着・推進を図るため現地検討会を開催し、職員の意識・知識・技術のさらなる向上を目的とする。	署職員2名と調査官外局5名での検討会を開催。 現地の主伐期を向かえた人工林（上層：カラマツ・下層：スギ・保安林外）の林分状況を評価し、評価を踏まえた施業方法を検討。 現地の現況を考慮したうえで、皆伐をカラマツ択伐へ変更し、下層のスギを育成すると同時に天然更新木も育成する施業に変更した。	 林内での検討状況
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 27名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
天然林整備に向けた現地検討会（後志署）	8月26日	北海道森林管理局 計画課	後志森林管理署 1419林班（岩内町）	国有林 32名	計画的な天然林施業の実施による広葉樹の育成及び広葉樹材の安定供給に向け、森林の現況に応じた天然林施業に関する職員の意識・知識・技術を向上させるため。	過去に伐採を行い、地表処理等を行ったカンバ二次林を検討箇所とし、参加した森林管理署ごとに現況の把握および目標林型へ向けた施業方法やその課題を検討。その後、局・署より検討した施業案等について発表し、意見交換を実施した。 局・各署からは様々な施業案・課題が出され、お互いに質問・回答することで、天然林施業に関する理解を深めた。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 32名			
石狩空知地域林政連絡会議	9月2日	石狩森林管理署	芦別市（民有林）	国有林 8名	民有林と国有林の連携した取組を推進するため	芦別市が森林経営管理制度に基づく現地調査を行っている私有林（個人所有）において、今後の施業方法について現地検討を行った。 また、コンテナ苗を使用した造林を行っている芦別市有林において現地見学会を行った。	
				都道府県 10名			
				市町村 3名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 21名			
天然力を活用した多様な森林づくり	9月6日	宗谷森林管理署	宗谷森林管理署 1007ろ林小班（稚内市）	国有林 20名	「天然力を活用した多様な森林づくり」の推進に向けての認識統一を図るため。	翌年度主伐を予定している箇所数班に分かれ、伐採や搬出、更新方法など現地確認・検討を行い、班毎にその検討結果を報告し、検討結果についての意見交換を行った。 意見交換では「植栽木の樹高は低めであるが宗谷地域の山としては生長の良い方と思われるので単層林施業は可能と判断」、「下層植生が少ないので間伐を入れることにより光環境改善を行い、下層植生の復活を促してから次の施業（複層伐）を行った方が良いのでは。それによって土砂流出等のリスクも軽減されるのでは。」等の意見があった。 今後も「天然力を活用した多様な森林づくり」の考え方について検討会を通じ知見を深めていきたいと考えています。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 4名			
				研究機関 名			
				その他 2名			
				合計 26名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
多様な森林づくり現地検討会	9月7日	根釧西部森林管理署	根釧西部森林管理署 241林班（標茶町）	国有林 名	多様な森林づくり、「PFにおけるカラマツの200年伐期化と年齢構成平準化」、「地況林況等調査」の3点について検討会を実施した。	これまで多様な森林づくりで検討してきた、広葉樹をどう残し育てるかだけでなく、「PFにおけるカラマツの200年伐期化と年齢構成平準化」や「地況林況等調査」の時点ではどう考えを伝えるかについて検討した。 現地については、当初複層伐としていたが、検討結果、間伐へ変更する予定である。	 検討会現地踏査  検討会講評
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 0 名			
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	9月12日	空知森林管理署北空知支署	空知森林管理署北空知支署 538ち林小班（深川市）	国有林 20 名	人工林施業における天然力の活用を念頭に、開催地の現況林分の分析から国有林に求められている施業方法について検討する。	「天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会における考え方」により林分評価、施業の考え方、視点などのポイント、対象林分の沿革・現況などについて、オルソ画像も交えて説明。その後、林内に入り、4班に分かれて林分の評価と施業方法の検討を行った。検討内容は各班から発表された。現況はエゾマツ65年生だが残存植栽木が少なく、天然更新した広葉樹の取扱いがポイントとなった。小班内の林層に応じた分割施業、広葉樹の天然更新を期待した低密度植栽など、各班ともそれぞれの林相に合わせた施業方法の提案がされ、その場で議論が行われた。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 3 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 23 名			
上川地域フォレスターの集い	9月16日	<ul style="list-style-type: none"> 上川中部森林管理署 空知森林管理署北空知支署 上川総合振興局 	北竜町（国有林）	国有林 5 名	国有林、上川町、上川総合振興局における森林総合監理士（フォレスター）及び目指す者による勉強会と意見交流を行いスキルアップを目指す。	北竜町有林において、「低コスト造林手法の取組について（「表土戻し」地拵）」について現地説明、北大北方圏フィールド科学科学センター森林園ステーション北管理部の研究結果の報告と併せて意見交流を行った。	
				都道府県 4 名			
				市町村 1 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 2 名			
				その他 名			
				合計 12 名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	9月26日	留萌南部森林管理署	留萌南部森林管理署 168林班の小班（留萌市）	国有林 20名	人工林の中には天然力により広葉樹が混交している林分も多く見られることから、その混交した天然力を活用した森林づくりの推進を図ることを目的とした。	実際の収穫調査予定箇所において、施業方法等についての考え方を職員を3班に分けてそれぞれ①現況林分の評価②伐採方法・収穫調査方法③更新方法等を検討しお互いの結果について発表するとともに、他の参加者（林業事業者・調査機関・振興局等）との意見交換を行い検討会を実施した。	 
				都道府県 6名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業者（森林組合を除く） 7名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
合計 35名							
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	9月27日	留萌北部森林管理署	留萌北部森林管理署 18林班に小班（天塩町）	国有林 21名	人工林資源の充実による今後の施業方法として、天然力により広葉樹が混交している林分も多く見られることから、その混交した天然力を活用した森林づくりの推進を図ることを目的とした。	令和6年度主伐予定箇所において、施業方法等の考え方等について、職員を3班に分けてそれぞれ①現況林分の評価②伐採方法・収穫調査方法③更新方法等を現地において検討し、お互いの結果について発表するとともに、他の参加者（林業事業者・指定調査機関）との意見交換を行った。	 
				都道府県 1名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業者（森林組合を除く） 5名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
合計 26名							
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	9月29日	空知森林管理署	空知森林管理署 9林小班（長沼町）	国有林 10名	空知署の若手職員を対象に、現況林分の評価が次の山づくりに重要であることを認識してもらい、天然力を活用した森林づくりへの意識・技術の向上を図る。	9林小班（9.99ha）は上層にエゾマツ（7.13ha 92年生）下層にトドマツ（2.44ha 27年生）の人工林である。2グループに分かれ、①現況の林分をどのように評価するか。②今後どのように取り扱っていくべきか。③森林整備ではどのような低コスト化が期待できるか。④伐採するとなれば、どのような伐採方法とするか。の4点についてグループ内で検討、討論し、各グループごとに発表をした。	 
				都道府県 1名			
				市町村 1名			
				森林組合 1名			
				林業事業者（森林組合を除く） 1名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
合計 10名							

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月13日	十勝東部森林管理署	十勝東部森林管理署 390林班（足寄町）	国有林 33名	天然力を活用した多様な森林づくりの定着化と質の向上に取り組む必要があるため現地検討会を開催し、職員の意識・知識・技術のさらなる向上を目的とする。	植栽した針葉樹の育成状況や被害状況、広葉樹の混交状況、林床の稚樹の発生状況等を現地踏査を行う中から、今後の施業等について、各班より発表して、意見交換を行った。意見交換では、「5m×15mの帯状間伐」「様子を見たいが入れるなら列状間伐」「上部は帯状間伐で下部は複層伐」「長伐期化を指向し列状間伐」などの意見が出された。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 6名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 39名			
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月18日	十勝西部森林管理署	十勝西部森林管理署 312ほ林小班（芽室町）	国有林 23名	天然力を活用した多様な森林づくりの定着・推進を図るため現地検討会を開催し、職員の意識・知識・技術のさらなる向上を目的とする。	森林官等及び若手職員の技術力向上を主目的とし、主伐予定地において人工林の現況・林分状況の把握を実施。踏査後、森林官等が林分状況を評価。今後の施業の方向について検討し、現地に即した施業方法について検討結果の作成を行った。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 23名			
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月19日	上川中部森林管理署	旭川市（国有林）	国有林 17名	公益的機能の持続的な発揮や天然力を活用した多様な森林づくりを踏まえ、どのような伐採方法が良いの目慣らし、意識の醸成のため。	今後の伐採予定箇所において、公益的機能の持続的な発揮や天然力を活用した多様な森林づくりを踏まえ、どのような伐採方法が良いのか検討し、意見交換した。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 17名			

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
赤井川森林整備計画策定に伴う現地検討会	11月9日	主催：赤井川村 開催協力：石狩森林管理署	赤井川村村有林	国有林 5名	赤井川村では次期森林整備計画で村有林整備を検討していることから、関係行政機関、林業事業者との意見交換を行うため。	石狩署では赤井川村の森林整備計画の策定にあたって、支援チームを組織し技術支援を行っている。現地検討会の開催にあたっては、村有林調査を地元森林官が中心となって支援。当日は森林室、後志署、森林組合から、村有林整備の計画にあたっての意見、助言を受けた。同村ではこれらを計画に反映していく考え。	
				都道府県 5名			
				市町村 3名			
				森林組合 3名			
				林業事業者（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
合計 16名							
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	11月11日	胆振東部森林管理署	胆振東部森林管理署 1302に林小班（苫小牧市）	国有林 10名	次期施業実施計画（令和8年度～）において主伐を検討する箇所、現地の林況等を確認し、今後の施業方法について検討を行う。	参加者で班を2つ編成、検討会現地を踏査する中、班内で今後の施業方法を検討し、班代表者より発表を行った。発表後にそれぞれの検討結果について意見交換を行い、総括森林整備官より現地検討会の講評を行った。意見交換では「点生木の進入が多いことから主伐は択伐を行った方が良い」「高齢級林分（カラマツ66年生）ではあるが、残存本数が多いほか目標径級に達しておらず次回の伐採も間伐が良いのではないか」「エゾシカの被害が多い地域であるので、間伐を実施する中で点生木の進入状況等を確認し主伐方法を決定しても良いのではないか」等の意見が出た。	
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業者（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
合計 10名							
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	11月11日	日高北部森林管理署	日高北部森林管理署 1092林班（平取町）	国有林 27名	天然力を活用した多様な森林づくりについて、意識・知識・技術のさらなる向上と、民有林支援の一環として、道・市町村の民有林行政担当者の方に国有林の取り組みを知っていただく。	【2班の検討例】1 現況林分の評価：間伐遅れ、形状比、立ち枯れ2 主伐から間伐への見直し：山地災害防止タイプのため1ha以上の皆伐不可3 造林コスト縮減の意味からの天然更新：広葉樹母樹少ない4 保残したい広葉樹の取り扱い：該当なし5 複層伐における伐採方法：該当なし6 主伐・再造林の対象箇所：該当なし7 長伐期化に向けた検討：腐朽等肥大成長の見込みなし8 法令等を遵守した取り扱い：山地災害防止タイプのため1ha以上の皆伐不可、弱度の間伐で様子を見る	
				都道府県 10名			
				市町村 6名			
				森林組合 名			
				林業事業者（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
合計 43名							

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	11月29日	渡島森林管理署	渡島森林管理 1157林班（森町）	国有林 17名	天然力を活用した多様な森林づくりの定着・推進を図るため、現地検討会を開催し、職員の意識・知識・技術の向上を目的とする。	職員が3班に分かれ、現地の人工林の林分状況を評価したうえで、今後の施業方法について検討し各班の検討結果について発表を行い、意見交換を行った。 意見交換では、「隣接した類似林分で同一の施業を行った方が良い」「広葉樹の生育が良いので、天然更新を期待した施業とすべき」「委託調査発注前から小班分割を前提とした発注をすべき」などの意見が出された。	 現地検討会の様子
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 17名			
天然力を活用した多様な森林づくりの現地検討会	12月9日	網走西部森林管理署西紋別支署	網走西部森林管理署西紋別支署 1083い林小班（紋別市）	国有林 8名	天然力を活用した多様な森林づくりの定着・推進を図るため現地検討会を開催し、職員の意識・知識・技術のさらなる向上を目的とする。	若手職員の技術力向上を主目的とし、主伐予定地において人工林の現況・林分状況の把握を実施。踏査後、現地にて若手職員4名が林分状況を評価、今後の施業の方向について検討し、現地に即した施業方法について検討結果の発表を行った。	 現地林分状況の把握
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 8名			
天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	3月3日	上川北部森林管理署	上川郡下川町 前珊瑚7林班	国有林 21名	天然力を活用した多様な森林づくりを進めていくため、どのような施業が良いのか検討し、天然力を活用した施業の実施を目指すため。	次期計画の伐採予定箇所において、天然力を活用した多様な森林づくりを推進するために、4班に分かれて現地林分状況を把握し、どのような施業方法が良いのか検討し、班の意見を発表した後に意見交換を行った。	 現地林分状況の把握
				都道府県 名			
				市町村 名			
				森林組合 名			
				林業事業体（森林組合を除く） 名			
				研究機関 名			
				その他 名			
				合計 21名			